

## 1. 脱炭素先行地域とは

《概要》 ・2050年カーボンニュートラルを前倒しで実施する提案を環境省が採択するもの(全国で100か所程度)

《要件》 ・2030年度までに、**民生部門電力消費に伴う二酸化炭素排出を実質ゼロ**とすること  
・地域の**脱炭素**と**地域課題の解決**を**同時に実現**すること  
・全国展開可能な**先進性・モデル性**を有すること など

《国庫補助》 ・交付期間: 申請年度+5年を上限(補助率2/3以内、上限50億円)

## 2. 応募タイトル

賃貸集合住宅密集地で挑戦! 農地から住宅地、そして脱炭素の街へ  
~「市川モデル」によるカーボンニュートラルの実現

## 3. 共同提案者

- (1) 市川市農業協同組合
- (2) 京葉瓦斯株式会社
- (3) 一般社団法人再生可能エネルギー地域活性協会(FOURE)
- (4) 株式会社千葉銀行
- (5) 学校法人千葉学園千葉商科大学

## 4. 本市の地域課題 (第三次基本計画「重点課題」より抽出)

- (1) 子育て世代の定住促進
- (2) 激甚化する災害の対応
- (3) 地域経済の活性化
- (4) カーボンニュートラルの実現

## 5. 対象エリア

妙典土地区画整理事業区域、下妙典

### 《エリアの特徴》

- (1) 子育て世代が多い
- (2) 集合住宅、とりわけ賃貸集合住宅が多く、子育て世代の転出入率が高い
- (3) かつて農地であり、1999年に区画整理事業竣工(同年5月基盤整備工事竣工)
- (4) 区画整理事業竣工後にできた街



## 6. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- (1) 省エネの促進: 既存**賃貸集合住宅**の窓や扉を中心とした断熱改修の実施
- (2) 創エネの促進: **太陽光パネルの最大限導入**および**地方部との連携**による再エネ電源の確保
- (3) 再エネ電源割合の高い電力会社との契約促進
- (4) 条例の制定: **賃貸住宅等の断熱水準の可視化**や、**太陽光発電設備の設置、円滑な更新、適正な廃棄の促進**などを定めた**条例**の制定

## 7. 民生部門以外の脱炭素化に関する主な取組

- (1) EVの普及: 「ぴあぱーく妙典」内にEV充電設備を設置するとともに、EVの導入を促進
- (2) 市民一人ひとりの行動変容の促し: 「ぴあぱーく妙典」内のNealyZEB施設において、千葉商科大学の教員をはじめとする各界の有識者による講演会やワークショップを開催

## 8. 取組により期待される主な効果

先行地域内の脱炭素と市の重点課題の解決を同時に実現

- (1) 子育て世代の定住促進: 「**住環境の向上**」と地域内住み替えを掘り起こす「**地域住みながら断熱**」による**子育て世代の定住促進**
- (2) 激甚化する災害の対応: 災害時の水・電力の自給体制の強化による**在宅避難可能地区**の形成
- (3) 地域経済の活性化: 市内事業者の**事業機会の増加**と**雇用の創出**と、電気料金支払額の市外流出抑制による**エネルギー自治**の実現